

1/19 福井

# 3回目接種券 福井市12月

## 高齢者へ47市区の4割も

新規ワクチン接種について  
47都道府県所在県(東京は新宿区)のうち 53・  
1%に当たる25市区が予約  
受け付け方法を見直しを検討している。これが16日、井  
岡厚生の調査で分かった。  
65歳以上の高齢者への接種  
券発送時期に関する福井市

を含む12市が12月上旬と  
した。7市区も年内予定で確  
定中と回答。合わせて19市  
(40・4%)となつた。

自治体が米ファイザ一製、  
モルナ歯など複数のワク  
チンを同時に扱う可能性が  
あることより福井市を含む27  
市区(57・4%)が不安だ  
とした。4回目も、モルナを含

む新宿、豊田、熊本の3  
市区があらかじめ日時や会  
場を指定する方法を採  
った。接種券を一斉発送せず、  
数回に分けて「ワクチン予約時  
期を分散させた」した形態  
も多かつた。

「その色」と答えた福井

市などは市も今後、協議し  
て何らかの対策を講じな  
いとした。残りの市は「検討  
していない」だった。

3回目の課題を複数回答  
で選択した。「ワクチンがまだ  
まとまらなかかる」(44市  
区)が最多。3回接種の現

め管理方法が複数のワ  
クチンを扱う場合「不安」  
とした市区のうち、16市

で時期や市区は「12月  
中」、37市区は「12月末」  
と回答した。

府方針が明確でないことも  
「未定」とした市区も立  
つた。方針が示されれば  
年内に対応するケースが増  
える可能性がある。先行す  
る見込みの医療従事者への  
券発送は、少なくとも31市  
区が11月から予定または  
検討している。

3回目の課題を複数回答  
で選択した。「ワクチンがまだ  
まとまらなかかる」(44市  
区)が最多。3回接種の現

19/19

# 表層 深層

## 対象者示されぬまま 国にせかされ

温度差

「3回目のワクチン接種を12月に開始する」。岸田文雄首相は衆院を解散した。事業上の選挙戦に入りました。第6波への備えを講究に進めていたことをアピールしたい。政権の恩恵が受けた。出生労働者は1月下旬、自治体向け認定金を開始。具体的な対象者や、使用するワクチンは決まっていませんが、「2回目」とあります。日本上が経過した全国が、「これまでの接種を重ねた」ですが、国の命令ではありません。回収率が「9割以上」とされていますが、「2回目」とあります。

今後2月に始まるワクチン1回目、2回目接種では、国が「11月中の実現」を掲げ、自治体は医師や看護師などの打ち手確保や接種施設を整備した。しかし、自治体が体制を整えたのに國から十分なワクチンが供給されず、多くの地域で予約停止に追い込まれた苦い経験がある。

新型コロナウイルスワクチンの回目接種が、医療従事者を皮切つた12月から始まる見通し。感染対策強化に伴うアクセルを踏む国は、年齢など具体的な接種者も未だ決まりません。自治体に命令をかけ体制整備をさせます。一方、多くの自治体は再び供給不足で困ります。対応が遅れるのも当然です。各には流行「第6波」も到来か心配ですが、現場に接種の色が付きました。

苦い経験

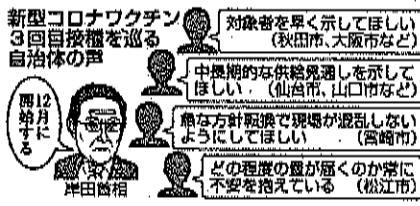
「3回目のワクチン接種を12月に開始する」。岸田文雄首相は衆院を解散した。事業上の選挙戦に入りました。第6波への備えを講究に進めていたことをアピールしたい。

皮切つた12月から始まる見通し。感染対策強化に伴うアクセルを踏む国は、年齢など具体的な接種者も未だ決まりません。自治体に命令をかけ体制整備をさせます。一方、多くの自治体は再び供給不足で困ります。対応が遅れるのも当然です。各には流行「第6波」も到来か心配ですが、現場に接種の色が付きました。

【一面記事】

## ワクチン3回目接種

## 困惑する 自治体



(仙台市・本間康男)

ぱりつけ

の供給が不足すればキャンセルを相談に叶わぬ地元などはない。住民との信頼関係が破綻する」は課題だ。

海外では既に始まっているある回目接種。新型コロナワクチンは、時間の経過とともに感染を防ぐ抗体の量が減少し、接種後に感染する「ブレークスルー感染」が起きやすくなるとの指摘がある。3回目接種で抗体の量が増えるとのデータもあり、日本でも流れに乗った形だ。

各国で先駆けて始めたイスラエルは12歳以上と重症化リスクなし米国疾患対策センター（CDC）が高齢者や介護施設入所者、18～64歳で持病のある人、医療従事者などに3回目接種を勧告。英国有50歳以上や高齢者施設入居者、医療従事者など各國で導いていますがある。

日本では、対象者はまだ決まっておらず、海外の状況などを参考に今後、厚労省で議論する。

## 供給量は十分なのか… はしご外しの再来懸念

温度差

供給量は十分なのか…

はしご外しの再来懸念

運営の教訓から、独自の改築を実施する自治体も、新宿区、静岡市、熊本市は、高齢者への接種が始まり、対応が追いつかなかった。だから日時や場所を指定する方法の導入を検討する。

一方、国内外で飲み食いの閑散も進み、首相は年内の需用化を想定すると直面。これまでのワクチン接種の状況が変わる可能性もある。ある自治体の担当者は、「これまでの想定が無駄になるかもしれない」と話す。國の方針が定まらないことが前提。熊本市の担当者は、「接種券発送後に国がいる」と立場を見せた。